

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月 5日 更新

事務事業名		地域コミュニティブランド協議会参画事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本 政誠
	施策	12	商工業の振興			所属課	政策課	担当者名	益田 修
	基本事業	37	異業種連携の促進			所属班	政策班	(内線)	1231
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11626	法令根拠	成果優先度評価結果	—
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	現在、様々な活動を行っている企業、団体等を繋ぐ、仕組みづくりとして、「地域コミュニティブランド」の理論に基づく協議会の設立が計画されており、本市における活動のブランド化及び地域の自立したコミュニティビジネスの構築のため協議会へ参画する。 なお、協議会の事業の一つとして、崇城大学において、地域コミュニティブランド放送ワークショップがKAB・FMKの協力により行なわれる。具体的には、地域の中でがんばっている企業や人物を大学生や高校生が現地を訪問し、番組企画、撮影、制作、放送配信などの一切を自分たちで行い、テレビやラジオの中で放送していく予定。
【業務の流れ】	協議会の設立、総会への出席、協議会への負担金の支出
【主な予算費目】	19負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	現状として、市民等からの意見等は無いが、本年5月25日に本市において地域コミュニティブランドシンポジウムを開催し、その中で協議会の設立と協議会への参加を本市も表明している。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
本市における活動のブランド化及び地域の自立したコミュニティビジネスの構築のため協議会を活用して検討する。	・協議会の運営方法、事業内容等協議検討。 ・他団体等への参加依頼。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	【新規事業】地域コミュニティブランド協議会へ新規参画に伴う増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
本市の個人、企業、団体等	→ ア: 協議会参加団体数 (単位) 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
協議会に参加することにより、本市が行う活動のブランド化及び市外への発信。	→ ア: 市外への活動発信数 (単位) 放送
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
企業、団体等との連携強化を図る取り組みについて成果指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込	
① 活動指標	ア	回			0	0	3	5	0	0	
	イ										
	イ										
② 対象指標	ア	団体			0	0	5	7	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	放送			0	0	2	5	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円					100	100		
		一般財源	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円			0	0	100	100	0	0
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円			0	0	0	0	0	0
正社員従事人数	人			0	0	0	0	0	0		
延べ業務時間	時間			0	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円			0	0	100	100	0	0		

事務事業名	地域コミュニティブランド協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						